

第 1 学年生活科学学習指導案

日 時 令和 5 年 5 月 15 日 (月) 5 校時

13:30~14:15

対 象 日野市立日野第一小学校 1 年 1 組 30 名

授業者 指導教諭 浅見 美之

1 単元名「がっこう だいすき」(東京書籍)

2 単元目標

学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達などについて考えることができ、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活をしようとするすることができる。

3 単元で育てたい資質・能力

内容 (1) 学校と生活

知識及び技能の基礎	思考力・判断力・表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
学校生活に関わる活動を通して、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることに気付くことができる。	学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達などについて考えることができる。	学校生活に関わる活動を通して、楽しく安心して遊びや生活をすることができる。

4 単元の評価規準と単元で育てたい資質・能力を踏まえた評価規準

知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学校生活に関わる活動を通して、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることに気付いている。	学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達などについて考えている。	学校生活に関わる活動を通して、楽しく安心して遊びや生活をしようとしている。
単元で育てたい資質・能力を踏まえた評価規準		
① 学校の施設の位置や特徴、役割、学校を支えている人々の存在や働きなどに気付いている。 ② みんなで学校の施設を利用する楽しさやよさに気付いている。 ③ 学校の人々や施設がみんなのためや安全な学校生活のためにあることに気付いている。	① 就学前の経験をいかして、安全に学校探検をしている。 ② 学校の施設の位置や特徴を意識して、行ってみたい場所ややってみたいことを選んでいる。 ③ 学校の施設や人々との関わりを思い描きながら、調べたことについて考えたことを表現している。 ④ 学校の施設の利用の仕方やマナーについて考えたことを生かしながら、利用している。	① 学校の施設をもっと知りたい、先生や友達などと親しくなりたいという思いをもって、それらに関わろうとしている。 ② 学校の施設の利用の仕方やマナーに応じて、楽しく遊んだり生活したりしようとしている。 ③ 調べたことを意欲的に伝えたり、友達が調べたりしたことを聞こうとしている。

5 単元について

本単元は、学習指導要領 生活科の内容（１）学校と生活に基づいて設定した。内容構成の具体的な視点として、「ア 健康で安全な生活」「イ 身近な人々との接し方」「エ 公共の意識とマナー」を位置付けて構成している。また、学習対象は、①学校の施設 ②学校で働く人 である。

本単元を通して、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることに気付き、楽しく安心して遊びや生活をしていこうとする気持ちを育みたい。

指導にあたっては、就学前の経験を踏まえ、学びの連続性やつながりを意識して計画を立てる必要がある。その中で、「幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿」の中で、本単元において発揮が想定される姿を生かして、期待する具体的な姿は、以下の通りである。

10 の姿の中で発揮されると予想される姿	10 の姿を生かして、学習の中で期待する姿や力
②自立心	先生や友達と共に学んでいく中で、自分なりに考えたり工夫したりして、満足感や達成感を味わっている。
③協同性	友達と積極的に関わり、様々な出来事を共有しながら、互いの考えの違いやよさに気付き、楽しみながら学習を進めることができる。
④道徳性・規範意識の芽生え	学校で安全に楽しく生活するためには、してよいことや悪いことが分かり、きまりを守って行動しようとすることができる。
⑥思考力の芽生え	学校探検を通して、発見することを楽しんだり、考えたり、振り返ったりして、繰り返し追究することができる。
⑨言葉による伝え合い	探検で見つけた事などを、言葉で伝え合う際、自分の思いや考えを伝えるように話したり、話し合ったりすることができる。
⑩豊かな感性と表現	友達と一緒に話し合いながら、目標に向かって工夫をして、創造的な活動を生み出していくことができる。

6 児童の実態

本学級の児童は、友達と関わり合ったり、自分で触ってみたり、体験してみたりと、体全体で学ぶことを好む児童が多い。その反面、思ったことや考えたことを絵や言葉(文)などで、表現することが苦手だったり、経験不足だったりする様子も見られる。

就学前の園での自分たちの役割などを聞き取ると、自分たちでみんなの布団を敷いていたこと、給食の献立で使われる野菜などの表示を担っていたこと、集団のリーダーとして朝の会や帰りの会の司会をしていたこと、今日の出来事をみんなの前で発表していたことなど、人と関わる経験や自分の考えを発信する経験をしてきている。そうした中で、できない時や不安な時は、「先生が助けてくれた」「友達と相談して役割分担した」と、さまざまな人に支えてもらって楽しく生活できていたことに気付いている子もあり、そのことを学級で共有することができた。

こうしたことから、就学前の経験をいかし、小学校でもさまざまな人たちと関わり、支えてもらえることに気付かせ、自分たちで決めた学習計画にそって学びを進めることで、自然と先生や友達との関わりが広がっていくように学習の進め方や言葉かけの工夫をしていく。

7 単元指導計画（本時は、18 時間中の 8 時間目）

次	学習活動	評価規準	主な評価方法
1 次 ③ + 常時活動	1 がっこうの ことが しりたいな ・教室の中を探検し、就学前の環境との違いや共通点、使い方を確認する。 ・学校の中を探検し、先生や上級生の様子、見つけたものを絵や言葉で学習カードに記録する。 ・見つけたものを共有し、伝え合う。	態―① 思―① 態―②	・行動観察、発言 ・行動観察、学習カード ・行動観察、発言
2 次 ③ + 常時活動	2 がっこうを たんけんしよう。 ・学校探検の途中経過の様子を共有し、学習計画を立てる。 【学級のゴール目標】 学校探検をして、パワーアップした素敵な 1 年生になる ・ゴール目標をもとに、学校探検をして見つけたものを絵や言葉で学習カードに記録する。 ・見つけたものを共有し、グループでインタビューの計画を立てる。 ・計画をもとに、インタビュー探検をする。 ・インタビュー探検をしたことをもとに、どのように発表するのかをグループで話し合う。(本時) 発表方法予想：絵・写真・劇・紙芝居・ペープサート ・発表に向けて、内容をまとめて練習したり、足りないことを再調査したりして、準備をする。	態―③ 思―② 知―① 知―② 思―③ 思―④	・行動観察、発言 ・行動観察、学習カード ・発言、ワークシート ・行動観察、メモ ・発言、ワークシート ・行動観察、発表準備物
3 次 ⑥	3 がっこうで みつけたことを つたえあおう。 ・調べたことをクラスで発表し、振り返る。 ・2 組の友達に調べたことを発表し、振り返る。 ・学校探検を通して、気付いたことを学習カードにまとめる。 ・学習カードをもとに発表し合い、互いの学習を共有する。	態―③ 態―③ 知―③ 知―③	・行動観察、学習カード ・行動観察、学習カード ・発言、学習カード ・行動観察、発言

*通学路の安全については、本校では交通安全教室の歩行訓練(5 月)や安全指導の中で触れるため、単元の学習の中では取り扱わないことにする。

8 本時の学習活動（18 時間中の 8 時間目）

（1）本時の目標

学校の施設や人々との関わりを思い描きながら、調べたことについて考えたことを伝え合うことができる。

（2）本時の展開

	○学習活動 ・予想される児童の反応	◇指導上の留意点 ▲配慮事項	評価 10 の姿で発揮が 期待される力
導入 5 分（学年）	○インタビュー探検の進捗状況を確認する。 （T1：浅見 T2：栃木） ○本時の学習とめあてを確認する。 ①インタビューしたことを ふりかえり ②はっぴょうの しかたを はなしあって きめよう。	◇学習計画は、いつでも確認することができるように、教室に掲示しておく。 ▲それぞれのグループのインタビュー探検にできるだけ付き添い、話合いの助言ができるようにする。	③協同性
展開① 10 分（学年）	○就学前の発表経験を共有する。 ・絵、写真、劇、紙芝居、ペープサート、動画 （T1：浅見 T2：栃木） ○話合いの進め方を確認する。 1 班：校長先生・6 年生 2 班：給食室・保健室 3 班：音楽室・職員室 4 班：理科室・図書室 5 班：6 年 1 組・栃木先生 6 班：浅見先生・栃木先生 7 班：校長先生・4 年 1 組	◇用意できる範囲（絵・写真・紙芝居・ペープサート）で、具体的な例を提示できるようにする。 ▲「どの方法が自分たちの発表に適しているか」という視点で発表方法を決められるように助言する。 ①のめあてについて ◇インタビュー探検で聞いてきたことのメモを見ながら、全ての質問について内容を確認する。正しい情報を伝えるという情報モラルの基礎。 ②のめあてについて ◇具体例や発表の経験をもとに、発表方法を決められるようにする。 ◇場所や人ごとに発表方法を変えるのではなく、インタビューしたこと全体をどの方法で発表するのかという視点で決められるように助言する。 ▲相手意識をもち、分かりやすい発表になるようにすることがめあてになることを伝える。	⑨言葉による伝え合い
展開② 25 分	○めあてを再確認し、話合いをする。 ・質問したいことが残っていました。 ・質問は全部したけれど、もっと質問したいことがあります。 ・インタビューの時に、写真を撮影していませんでした。 等	◇話合いの際は、就学前の話合いの経験をいかすように伝える。 ◇話合いで決まったことは、画用紙に記録する。 ▲①について、聞き漏らしがあった場合は、後日聞いてくることを確認する。 ▲①について、さらに疑問に思ったことは、後日再インタビューに行くことを確認する。 ▲②話合いの様子を見て、具体的に想像できなさそうな場合は、発表方法でどのようにまとめられそうなのか、イメージ図を書いて示す。 ▲②について、写真や動画については、後日撮影のお願いをしに行くことを確認する。	⑩豊かな感性と表現 思一③学校の施設や人々との関わりを思い描きながら、調べたことについて考えたことを伝え合うことができる。 (発言、ワークシート)
まとめ 5 分	○本時の振り返り	◇本時のめあてを振り返り、就学前の経験をいかした話合いができたのかを振り返る。 ◇発表の仕方まで決められなかった班は、後日個別に話合いを進めることを確認する。	